

【 骨密度測定 部門 】

● 骨密度測定検査とは？

骨密度測定検査では、骨密度を調べることができます。

骨密度とは、骨を構成しているカルシウム、マグネシウム等のミネラル成分が骨にどれくらい詰まっているかを表すもので、骨の強さを判定するための尺度のひとつです。

腰椎と大腿骨頸部（股関節）の骨密度を測定することで、骨折しやすいかどうかを調べることができ、骨粗鬆症の早期発見・治療効果の判定などに効果を発揮します。

当院の骨密度測定は、DXA(デキサ)法を用いており、骨粗鬆症の診断において最も標準的な方法とされています。この方法は、ごくわずかなX線を使用して簡便で正確に骨密度を測定できるので、気軽に検査を受けていただくことが可能です。

2021年12月より機器を更新し、TBS解析を追加して診断基準を最新の基準に変更しました。

● 装置（使用機器）

エックス線骨密度測定装置

[Lunar iDXA (GE)]



● 撮影方法・検査の流れ

1. 中央放射線部受付で受付をし、骨塩定量撮影室の近くの椅子に腰をかけてお待ちください。準備ができましたら、放射線技師が受付番号でお呼びします。
2. 測定部位に、衣服の金具・ボタン・湿布・ホッカイ口等がある場合は、正確な測定を行う為に外してもらいます。また必要に応じて検査着に着替えてもらうこともあります。
3. 検査台に仰向けに寝てもらいます。必要に応じて、足を内股の形で固定してもらいます。
測定中は息を止める必要はありませんが、体を動かさないようにしてください。
4. 検査時間は、10分程度になります。

注：腰椎や股関節に体内金属がある場合は、診療放射線技師にお知らせください。